



# AppMirror (アプリケーションミラー)

## Astra Automation

NetApp  
May 23, 2026

# 目次

AppMirror (アプリケーションミラー)	1
Astra API (ACS) AppMirrorエンドポイント	1
新しいAppMirrorリソースを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	5
応答	17
応答	18
応答	18
応答	19
エラー	19
用語の意味	20
すべてのAppMirrorリソースを表示	23
パラメータ	23
応答	24
応答	28
応答	28
応答	29
エラー	29
用語の意味	30
AppMirrorリソースを取得する	42
パラメータ	42
応答	42
応答	54
応答	55
応答	56
エラー	56
用語の意味	57
AppMirrorリソースを変更する	60
パラメータ	60
要求の本文	60
応答	69
応答	70
応答	70
応答	71
応答	71
エラー	72
用語の意味	73
AppMirrorリソースを削除します	76

パラメータ	76
応答	76
応答	77
応答	77
応答	78
エラー	78
用語の意味	79
アプリ用の新しいAppMirrorリソースを作成します	79
パラメータ	79
要求の本文	80
応答	84
応答	96
応答	97
応答	97
応答	98
エラー	98
用語の意味	99
アプリのAppMirrorリソースを一覧表示します	102
パラメータ	102
応答	103
応答	108
応答	108
応答	109
エラー	109
用語の意味	110
アプリのAppMirrorリソースを取得する	122
パラメータ	122
応答	122
応答	134
応答	135
応答	136
エラー	136
用語の意味	137
アプリのAppMirrorリソースを変更する	140
パラメータ	140
要求の本文	140
応答	149
応答	150
応答	150
応答	151
応答	151

エラー	152
用語の意味	153
アプリのAppMirrorリソースを削除します	156
パラメータ	156
応答	157
応答	157
応答	157
応答	158
エラー	158
用語の意味	159

# AppMirror (アプリケーションミラー)

## Astra API (ACS) AppMirrorエンドポイント

AppMirror API を使用すると、AppMirror 関係を管理できます。

### 新しいAppMirrorリソースを作成する

POST /accounts/{account\_id}/k8s/v1/appMirrors

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

#### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: {{.Account}}

#### 要求の本文

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです:  • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです:  • "1.0"

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	True	<p>ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "stateDesired": "established"
}
```

#### 応答

Status: 201, Returns the newly created appMirror resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>"1.0"</li> </ul>
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、 "deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、 "deleting"</li> <li>• "deleting"： "deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

## 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "id": "c5fbadd4-5d9e-5942-bb7f-f5386b6b6253",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "state": "establishing",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/3",
      "title": "AppMirror is being established",
      "detail": "The AppMirror relationship is in the process of being
established."
    }
  ],
  "healthState": "warning",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "normal",
      "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "warning",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "critical",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
      ]
    }
  ]
}

```

```

    ]
  }
],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/4",
    "title": "AppMirror not yet established",
    "detail": "The relationship is in the process of being
established, so it's not protecting the app data yet."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

## namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

## storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

## すべてのAppMirrorリソースを表示

GET /accounts/{account\_id}/k8s/v1/appMirrors

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: <code>{{.Account}}</code>
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。  URLの例 : <code>"include=id"</code> 、 <code>"include=id,name"</code>  OpenAPI の例: <code>"id"</code>
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。  URLの例: <code>"limit=2"</code>  OpenAPI の例: <code>"2"</code>

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。</p> <p>サポートされているオペレータは次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• eq - 等号</li> <li>• lt/gt - より小さい/より大きい</li> <li>• lte/gte - 以下/以上</li> </ul> <p>URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27"</p> <p>OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」</p>

## 応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか ： "appMirror_1.0_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

```
{
  "type": "application/astra-appMirrors",
  "version": "1.0",
  "items": [
    {
      "type": "application/astra-appMirror",
      "version": "1.0",
      "id": "f1c98c2e-6391-42d3-8b21-3e75dac048a3",
      "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
      "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
      "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaceMapping": [
        {
          "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
          "namespaces": [
            "ns1-src",
            "ns2-src"
          ]
        },
        {
          "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
          "namespaces": [
            "ns1-dest",
            "ns2-dest"
          ]
        }
      ],
      "state": "established",
      "stateTransitions": [
        {
          "from": "establishing",
          "to": [
            "established",
            "deleting"
          ]
        },
        {
          "from": "established",
          "to": [
            "failingOver",
            "deleting"
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```

    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
      "title": "AppMirror relationship established",
      "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
  ],
  "healthState": "normal",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    }
  ],
  {

```

```

    "from": "normal",
    "to": [
      "indeterminate",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "warning",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "critical",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "warning"
    ]
  }
],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
    "title": "SnapMirror syncing successfully",
    "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "modificationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "createdBy": "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa"
}
},
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

```
}
```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

#### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

#### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

#### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

#### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

#### appMirror\_1.0\_get\_response\_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>"1.0"</li> </ul>
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求 (PVC) を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。</p> <p>各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、"deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、"deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、"deleting"</li> <li>• "deleting"： "deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステネーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" : "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" : "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" : "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" : "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### type\_astra\_metadata\_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

#### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## AppMirrorリソースを取得する

GET /accounts/{account\_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror\_id}

JSON レスポンスボディに保存されている AppMirror API リソースを返します。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

### 応答

Status: 200, Returns the stored AppMirror API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	<p>リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "1.0"</li> </ul>
ID	string	True	<p>リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	<p>ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	<p>ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、"deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、"deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、"deleting"</li> <li>• "deleting"： "deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "id": "c5fbadd4-5d9e-5942-bb7f-f5386b6b6253",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "namespaceMapping": [
    {
      "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "namespaces": [
        "ns1-src",
        "ns2-src"
      ]
    },
    {
      "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaces": [
        "ns1-dest",
        "ns2-dest"
      ]
    }
  ],
  "state": "established",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
```

```

        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "deleting",
    "to": [
        "deleted"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
        "title": "AppMirror relationship established",
        "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [
    {
        "from": "indeterminate",
        "to": [
            "normal",
            "warning",
            "critical"
        ]
    },
    {
        "from": "normal",
        "to": [
            "indeterminate",
            "warning",

```

```

        "critical"
    ]
},
{
    "from": "warning",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "critical",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
    ]
}
],
"healthStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
        "title": "SnapMirror syncing successfully",
        "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
    }
],
"metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

#### 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

## 用語の意味

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

# AppMirrorリソースを変更する

PUT /accounts/{account\_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror\_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

## 副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

## パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

## 要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

## 副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです：  • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです：  • "1.0"

Name	を入力します	必須	説明
ID	string	False	<p>リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	False	<p>ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	False	<p>ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、"deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、"deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、"deleting"</li> <li>• "deleting"： "deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	False	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update_date"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "stateDesired": "failedOver"
}
```

#### 応答

```
Status: 204, Indicates if the appMirror resource was updated.
```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

#### エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```



namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

## AppMirrorリソースを削除します

```
DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror_id}
```

指定されたAppMirror APIリソースを削除します。AppMirrorリソース、およびAppMirror関係の結果としてソースクラスターと宛先クラスターで作成されたリソースを非同期的に削除するプロセスを開始します。削除されるリソースは、削除時点での関係性の状態によって異なります。

### 副作用

- stateDesiredフィールドは「deleted」に設定されています。
- 状態フィールドは「削除中」に設定されています。
- 状態が"established"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsおよびPersistentVolumeClaimsは削除されます。
- 状態が"failedOver"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsは削除され、宛先アプリケーションのPersistentVolumeClaimsはそのまま残されます。
- 非同期削除操作が完了すると、AppMirror APIリソースは、送信元アプリケーションと宛先アプリケーションの両方から削除されます。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

### 応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was deleted.

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

定義を参照

##### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## アプリ用の新しいAppMirrorリソースを作成します

POST /accounts/{account\_id}/k8s/v1/apps/{app\_id}/appMirrors

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

#### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

Name	を入力します	入力	必須	説明
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID

## 要求の本文

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>"1.0"</li> </ul>
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>             デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppID と destinationAppID を入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：           </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra 識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "stateDesired": "established"
}
```

#### 応答

Status: 201, Returns the newly created appMirror resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>"1.0"</li> </ul>
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、 "deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、 "deleting"</li> <li>• "deleting"： "deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "id": "c5fbadd4-5d9e-5942-bb7f-f5386b6b6253",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3bellff06226",
  "state": "establishing",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/3",
      "title": "AppMirror is being established",
      "detail": "The AppMirror relationship is in the process of being
established."
    }
  ],
  "healthState": "warning",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "normal",
      "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "warning",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "critical",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
      ]
    }
  ]
}

```

```

    ]
  }
],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/4",
    "title": "AppMirror not yet established",
    "detail": "The relationship is in the process of being
established, so it's not protecting the app data yet."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

## namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

## storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

## type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

## type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

## type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

## type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

## invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

## アプリのAppMirrorリソースを一覧表示します

GET /accounts/{account\_id}/k8s/v1/apps/{app\_id}/appMirrors

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  ・ 例: <code>{{.Account}}</code>
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。  URLの例 : "include=id"、"include=id,name"  OpenAPI の例: "id"

Name	を入力します	入力	必須	説明
制限 (Limit)	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。</p> <p>URLの例: "limit=2"</p> <p>OpenAPI の例: "2"</p>
フィルタ	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。</p> <p>サポートされているオペレータは次のとおりです:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• eq - 等号</li> <li>• lt/gt - より小さい/より大きい</li> <li>• lte/gte - 以下/以上</li> </ul> <p>URLの例 : "filter=field%20eq%20%27value%27"</p> <p>OpenAPI の例 : 「field eq 'value'」</p>

## 応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "appMirror_1.0_get_res ponse_body"、配列[]]	True	

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

```
{
  "type": "application/astra-appMirrors",
  "version": "1.0",
  "items": [
    {
      "type": "application/astra-appMirror",
      "version": "1.0",
      "id": "f1c98c2e-6391-42d3-8b21-3e75dac048a3",
      "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
      "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
      "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaceMapping": [
        {
          "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
          "namespaces": [
            "ns1-src",
            "ns2-src"
          ]
        },
        {
          "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
          "namespaces": [
            "ns1-dest",
            "ns2-dest"
          ]
        }
      ],
      "state": "established",
      "stateTransitions": [
        {
          "from": "establishing",
          "to": [
            "established",
            "deleting"
          ]
        },
        {
          "from": "established",
          "to": [
            "failingOver",
            "deleting"
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```

    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
      "title": "AppMirror relationship established",
      "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
  ],
  "healthState": "normal",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    }
  ],
  {

```

```

    "from": "normal",
    "to": [
      "indeterminate",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "warning",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "critical",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "warning"
    ]
  }
],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
    "title": "SnapMirror syncing successfully",
    "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "modificationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
  "createdBy": "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa"
}
},
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

```
}
```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

## namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

## storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

### appMirror\_1.0\_get\_response\_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>「application/astra-appMirror」</li> </ul>
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>"1.0"</li> </ul>
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求 (PVC) を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。</p> <p>各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、「deleting」</li> <li>• "established" ："failingOver"、"deleting"</li> <li>• "failingOver" ："failedOver"、"deleting"</li> <li>• "failedOver" ："establishing"、"deleting"</li> <li>• "deleting"："deleted"</li> <li>• 「削除済み」：</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステネーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" : "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" : "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" : "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" : "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### type\_astra\_metadata\_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

#### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## アプリのAppMirrorリソースを取得する

GET /accounts/{account\_id}/k8s/v1/apps/{app\_id}/appMirrors/{appMirror\_id}

JSON レスポンスボディに保存されている AppMirror API リソースを返します。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

### 応答

Status: 200, Returns the stored AppMirror API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • 「application/astra-appMirror」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	<p>リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "1.0"</li> </ul>
ID	string	True	<p>リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	True	<p>ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	True	<p>ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	True	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、 "deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、 "deleting"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• 「削除済み」 :</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" : "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" : "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" : "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" : "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "id": "c5fbadd4-5d9e-5942-bb7f-f5386b6b6253",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "namespaceMapping": [
    {
      "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "namespaces": [
        "ns1-src",
        "ns2-src"
      ]
    },
    {
      "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaces": [
        "ns1-dest",
        "ns2-dest"
      ]
    }
  ],
  "state": "established",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
```

```

        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "deleting",
    "to": [
        "deleted"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
        "title": "AppMirror relationship established",
        "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [
    {
        "from": "indeterminate",
        "to": [
            "normal",
            "warning",
            "critical"
        ]
    },
    {
        "from": "normal",
        "to": [
            "indeterminate",
            "warning",

```

```

        "critical"
    ]
},
{
    "from": "warning",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "critical",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
    ]
}
],
"healthStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
        "title": "SnapMirror syncing successfully",
        "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
    }
],
"metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

#### 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

## エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

## 用語の意味

## namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

## storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

# アプリのAppMirrorリソースを変更する

PUT /accounts/{account\_id}/k8s/v1/apps/{app\_id}/appMirrors/{appMirror\_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

## 副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

## パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

## 要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

## 副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです：  • 「application/astra-appMirror」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	<p>リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "1.0"</li> </ul>
ID	string	False	<p>リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UUIDv4スキーマに準拠</li> </ul>
sourceAppID	string	False	<p>ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
sourceClusterID	string	False	<p>ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
デスティネーション クラスタ ID	string	False	<p>デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	<p>宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	<p>新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーションクラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：0</li> <li>• 最大長さ：2</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	<p>関係の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 - 関係が構築されつつある。</li> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが進行中です。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。</li> </ul>
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ： 「established」、 「deleting」</li> <li>• "established" ： "failingOver"、 "deleting"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting"</li> <li>• "failedOver" ： "establishing"、 "deleting"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• 「削除済み」 :</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	False	<p>関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「established」 - 関係が作成されます。</li> <li>• 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。</li> <li>• 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。</li> </ul>
stateAllowed	array[string]	False	<p>特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「establishing」 ：「established」、 「deleted」</li> <li>• "established" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted"</li> <li>• "failedOver": "established"、 "deleted"</li> <li>• "deleting" : "deleted"</li> <li>• "deleted" : "削除済み"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>
transferState	string	False	<p>現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーションクラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。</li> <li>• 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。</li> </ul>
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "transferring": "idle"</li> <li>• "idle": "transferring"</li> </ul>
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	<p>現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小アイテム数：0</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	<p>リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため）</li> <li>• 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。</li> <li>• 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。</li> <li>• 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない</li> </ul>
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	<p>特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical"</li> <li>• "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical"</li> <li>• "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical"</li> <li>• "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"</li> </ul>

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>最小アイテム数：0</li> </ul>
メタデータ	"type_astra_metadata_update_date"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。</li> </ul>

#### リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.0",
  "stateDesired": "failedOver"
}
```

#### 応答

```
Status: 204, Indicates if the appMirror resource was updated.
```

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

## 応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

## 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

#### エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```



## namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：63</li> <li>• DNS 1123 Label Schemaに準拠</li> </ul>

## storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Astra識別子スキーマに準拠</li> </ul>
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最小長さ：1</li> <li>• 最大長さ：255</li> </ul>

#### type\_astra\_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

#### type\_astra\_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

#### type\_astra\_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

#### type\_astra\_metadata\_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

#### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

## アプリのAppMirrorリソースを削除します

```
DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors/{appMirror_id}
```

指定されたAppMirror APIリソースを削除します。AppMirrorリソース、およびAppMirror関係の結果としてソースクラスターと宛先クラスターで作成されたリソースを非同期的に削除するプロセスを開始します。削除されるリソースは、削除時点での関係性の状態によって異なります。

### 副作用

- stateDesiredフィールドは「deleted」に設定されています。
- 状態フィールドは「削除中」に設定されています。
- 状態が"established"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsおよびPersistentVolumeClaimsは削除されます。
- 状態が"failedOver"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsは削除され、宛先アプリケーションのPersistentVolumeClaimsはそのまま残されます。
- 非同期削除操作が完了すると、AppMirror APIリソースは、送信元アプリケーションと宛先アプリケーションの両方から削除されます。

### パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID  • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

## 応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was deleted.

## 応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

## 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

## 応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

#### 応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

#### エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

#### エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

#### 用語の意味

##### 定義を参照

##### invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。